

事業所名

児童発達支援事業所 からあ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

4 日

法人（事業所）理念		すべての個性を尊重し、みんなが生き生きとできる支援を追求する								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・自然から多くを学び、子ども達に貴重な体験を提供する ・一人ひとりの個性を最大限に伸ばせるように努める ・友達や職員との関わりを大切に、社会性を育てていく 								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	日常生活動作（衣服の着脱、排泄、手洗い等）を実施し習慣化できるようにする。生活リズムを整えるために、自宅での睡眠時間や朝食摂取、排便なども確認し、今後の集団生活に向けての土台を作っていく。また、心身が健康であるためにリラックス状態を自ら作れるよう音楽や力を抜く姿勢を取り入れる。								
	運動・感覚	五感を刺激する遊びを通して、人や物との距離感や心身の安定に繋げていく。また体力向上、体幹を鍛えることで自分の身体をコントロールする力をつけていく。								
	認知・行動	見通しを持って行動に移せるように視覚的な支援を行う。認知機能を高めるためにワーキングメモリー強化、想像力、集中力など機能向上する活動を楽しみながら取り組む。								
	言語 コミュニケーション	右脳を働かすように絵カードのフラッシュなどを行う。また絵本を用いてイメージ力と言葉の語彙力向上に繋げる。相手とやりとりできる手段（指差し、表情、言葉など）を小集団の中で経験を積み重ねる。								
	人間関係 社会性	小集団の中で人への興味関心の向上、人との関わり方を楽しみながら学んでいく。協力すること、協調することをまずは職員と経験することでお友達ともできるようにする。								
家族支援		ご家庭や関係機関施設でのご様子を伺います。モニタリングのタイミングだけでなく、必要に応じて今後を見据えた家族支援面談や電話相談も別途行っていく。				移行支援		保育園、幼稚園への連携を図る。個別支援計画書を反映し、共に成長を促す。		
地域支援・地域連携		ご利用児の関係機関施設（相談事業所、他療育施設、保育園や幼稚園等）との情報共有と連携を図る。				職員の質の向上		事例検討会や社内研修を定期的に行い、現場の支援に繋げる。		
主な行事等		避難訓練、防災学習、誕生会（毎月開催）								